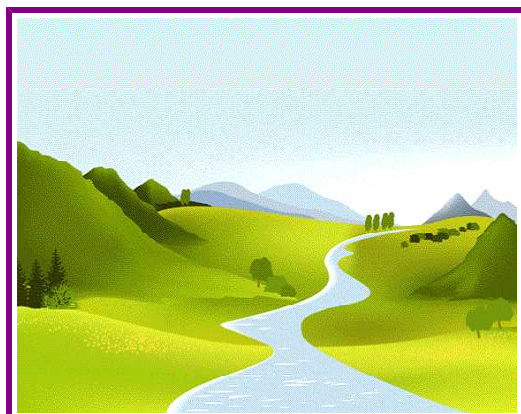


めぐみイエス・キリスト教会

2020年8月2日(日)第一主日礼拝
週報「通算第517号」



2020年標題聖句

第 I テサロニケ5章16節～18節

《いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2020年8月2日 第一主日礼拝 午前10時
司会 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌254「心にあるこの安きを」 p. 394

【交読文】 No.58 コリント人への手紙Ⅰ 第15章 p. 926

【賛美Ⅱ】 新聖歌428「キリストには代えられません」p. 690

【使徒信条】 【主の祈り】 【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル賛美No.2「あなたと共にいつまでも」

【聖書朗読】 使徒の働き3章17節～23節(2017新約p. 237下段)

【礼拝説教】 《ひとりの預言者とは？》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所「使徒の働き」3章17節～23節

3:17 「さて兄弟たち。あなたがたが、自分たちの指導者たちと同様に、無知のためにあのような行いをしたことを、私は知っています。

3:18 しかし神は、すべての預言者たちの口を通してあらかじめ告げておられたこと、すなわち、キリストの受難をこのように実現されました。

3:19 ですから、悔い改めて神に立ち返りなさい。そうすれば、あなたがたの罪はぬぐい去られます。

3:20 そうして、主の御前から回復の時に来て、あなたがたのためにあらかじめキリストとして定められていたイエスを、主は遣わしてください。

3:21 このイエスは、神が昔からその聖なる預言者たちの口を通して語られた、万物が改まる時まで、天にとどまっていなければなりません。

3:22 モーセはこう言いました。『あなたがたの神、主は、あなたがたの同

胞の中から、私のような一人の預言者をあなたがたのために起こされる。彼があなたがたに告げることすべてに聞き従わなければならない。
3:23 その預言者に聞き従わない者はだれでも、自分の民から断ち切られる。』

●ポイント1. 「キリストの受難」とは？

※イザヤ書53章1節～7節「苦しみのメシヤ預言から」(旧約p.1258下段)

●ポイント2. 「回復の時」とは？「天にとどまって～」とは？

※黙示録3章20節～21節「私と共に食事し・私の座に」(新約p.496上段)

3:20 見よ、私は戸の外に立ってたたいている。だれでも、私の声を聞いて戸を開けるなら、私はその人のところに入って彼と共に食事をし、彼も私と共に食事をする。

3:21 勝利を得る者を、私と共に私の座に着かせる。それは、私が勝利を得て、私の父と共に父の御座に着いたのと同じである。

※詩篇110篇1節 「ダビデによる讃歌から」(旧約p.1053上段)

110:1 主は、私の主に仰せられる。「私があなたの敵をあなたの足台とするまでは、私の右の座に着いていよ。」

●ポイント3. 「ひとりの預言者」とは？

※申命記18章15節～18節「神によるモーセへの預言」(新約p.348上段)

18:15 あなたの神、【主】はあなたのうちから、あなたの同胞の中から、私のような一人の預言者をあなたのために起こされる。あなたがたはその人に聞き従わなければならない。

18:16 これは、あなたがホレブでのあの集まりの日に、あなたの神、【主】に求めて、「私の神、【主】の御声は二度と聞きたくありません。この大きな火はもう見たくありません。私は死にたくありません」と言ったことによるものである。

18:17 それで【主】は私に言われた。「彼らの言ったことはもつともだ。

18:18 私は彼らの同胞のうちから、彼らのためにあなたのような一人の預言者を起こして、彼の口に私の言葉を授ける。彼は私が命じることすべてを彼らに告げる。

◎先週のメッセージの概要【ソロモンの回廊にて】

《ペテロとヨハネは、美しの門を通り抜け、ソロモンの回廊まで来ました。その二人の後に、癒された物乞いの青年が、喜び踊りついて来ます。

午後三時の祈りに、救われて間もない兄弟たちに、主イエスのみ言葉を教え導く為に、二人は宮に上って来たのです。当時、多くの人々の待ち合わせ場所でもあった、ソロモンの回廊が集合場所と言うわけです。

二人が、兄弟たちを教えていますと、そこに律法学者や議員たちが集まって来ました。それほどまでに、美しの門において物乞いをしていた青年が癒され歩いていた事実は、強烈なインパクトを与えていたのです。「イスラエルの皆さん、どうしてこのことに驚いているのですか。私たちの父祖たちの神は、そのしもベイエスに栄光をお与えになりました。あなたがたはこの方を引き渡し、命の君を殺したのです。しかし、神はこのイエスを死者の中からよみがえらせました。私たちはそのことの証人です。」

ペテロは、主イエスの復活の生き証人である事を述べています。ところで主が復活された時、一番最初の目撃者は誰ですか。マタイによれば、『さて安息日が終わり、マグダラのマリアが墓を見に行った。すると大きな地震が起こり、御使いが天から降りて来て石をわきに転がした。その恐ろしさに番兵たちは震え上がり、死人のようになった。番兵たちはすぐにも都に戻って起こった事をすべて祭司長たちに報告した。そこで彼らは集まって協議し、兵士たちに多額の金を与えた。』と、書き記されています。

つまり、四人のローマ兵なのです。主イエスの復活された事実を、弟子よりも議員たちの方が先に知ったのです。よってパリサイ人や律法学者たちの中には、ナザレのイエスがよみがえった事を信じなくとも、認めざるを得ない事態が生じたのです。ペテロは、彼らに主イエスこそが聖書に約束されたメシヤである事を、確信に満ちて聖霊と共に教えています。この方以外には、誰によっても救いはないと。この御名だけなのだ。》

◎お知らせ

※次回礼拝は、8月9日(日)教会にて行ないます。夜の第二礼拝はありません。また、「聖書の学びと祈り会」は、毎週水曜日に各家庭にて行ないます。鈴木師は、8月4日(火)下妻朝祷会に司会の奉仕で出席します。